

# はじめに



これまで、名寄市社会福祉協議会では、「第3期名寄市地域福祉実践計画」（平成24年度～平成28年度）に基づき、「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」を基本理念とした活動を進めてきました。

近年、少子高齢化、核家族化の進行、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、近隣の人間関係の希薄化などにより、社会的孤立、虐待、ひきこもりなど新たな課題が地域に混在するようになり、既存の仕組みだけでは対応が困難になってきました。

こうした課題に対応するため、町内会ネットワーク事業をはじめとした様々な地域福祉事業に取り組んできましたが、今後も計画的な取り組みの中で地域が一体となった地域福祉活動の展開が必要とされています。

今回の計画策定にあたっては、平成27年8月に市内で活動する地域福祉関係者、学識経験者などで構成される「第4期名寄市地域福祉実践計画策定委員会」を設置し、平成28年11月まで計12回にわたりご検討いただき、その間、福祉懇談会やアンケート調査などにおいて、多くの市民の声もお寄せいただきました。

これまでの取り組みの成果と課題をふまえ、委員それぞれの立場から、「自分たちのまちの課題は何か」「どのような取り組みが必要か」など活発な議論が交わされ、地域が一体となって福祉のまちづくりを目指す計画が完成しました。

また、本計画は地域福祉の推進を目的とした行政計画である第2期名寄市地域福祉計画と協働で策定をし、同期間で施行されることから、地域福祉推進という共通の目的をもつ両計画の連動性を確保し、共通認識の中で計画を進めていくことで、より一層の地域福祉の推進を図っていくとともに、社会福祉法改正による社会福祉法人改革においても、本計画内において適切に進めていきます。

「つながり」と名付けられた本計画が、名寄市における様々な繋がりを生み出し、市民が手を取り合い共に支え合って暮らしていく一助となることを願っています。

最後になりますが、本計画の策定にあたり多大なるご尽力を賜りました第4期地域福祉実践計画策定委員会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただいた多くの市民の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成29年4月

社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会  
会長 坂田 仁